

平成30年1月16日

報道関係者各位

三重県道路インフラメンテナンス協議会 事務局
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
三重県 県土整備部
中日本高速道路株式会社 名古屋支社 津保全・サービスセンター

橋梁補修技術セミナーを開催します

～メンテナンスサイクルの着実な実施に向け、市町の実務担当者を支援～

三重県道路インフラメンテナンス協議会は、三重県内の道路管理者が適切に道路インフラの点検・補修ができるよう、道路橋等の点検計画策定や地域一括発注、現地点検講習会等に取り組んでいます。来年が点検1巡目の最終年度となり、今後点検結果に基づく補修が本格化してくることが予測されます。

今回、道路施設の老朽化対策を推進するため、多数の施設を抱える市町に対する技術支援など、メンテナンスサイクルを着実に回していく取り組みとして、県、市町の実務担当者を対象とした「橋梁補修技術セミナー」を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 日 時 平成30年1月23日(火) 13:30～16:00
2. 場 所 鈴鹿市文化会館さつきプラザ
3. 内 容 (1) 道路橋の設計基準の変遷と補修設計をする上での留意点
(2) 鋼橋の補修技術とその留意点
(3) PC構造物の維持保全
4. 取材について
取材は、主催者あいさつまでとさせていただきます。
5. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、鈴鹿市政記者クラブ
6. 問い合わせ先
国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
副 所 長 宮本 久仁彦(みやもと くにひこ)
総括保全対策官 大崎 真佐宏(おおさき まさひろ)
電話:059-229-2222 FAX:059-229-2380

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

会場案内

平成 29 年度 橋梁補修技術セミナー（三重）

場所● 鈴鹿市文化会館 1F さつきプラザ

三重県鈴鹿市飯野寺家町 810

TEL 059-382-8111 FAX 059-382-8580

■位置図



近鉄鈴鹿市駅から鈴鹿市文化会館行きの三交バスで約 4 分

三交バス鈴鹿市文化会館から徒歩で約 1 分

三重県道路インフラメンテナンス協議会とは

三重県内における道路インフラの維持管理・補修・更新等を効果的・効率的に行うため、交通上密接な関係を有する道路管理者等が相互に意見調整・情報共有を行い、道路インフラの点検結果や修繕計画等について協力することにより、円滑な道路管理を促進し、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図ることを目的として、平成26年3月18日に設立。

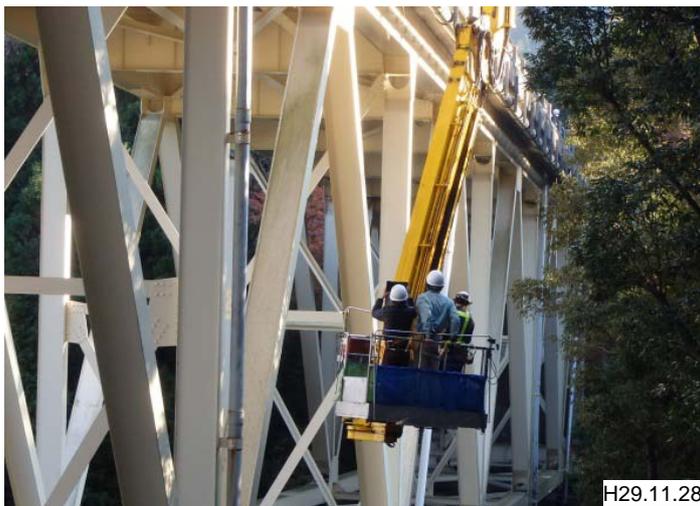
メンバー

国土交通省中部地方整備局、三重県、中日本高速道路株式会社、
県内29市町、(公財)三重県建設技術センター

協議会の主な活動

自治体職員の技術力向上を目的とした現地講習会等の実施

H29年度の橋梁点検講習会の実施状況



道路の老朽化対策パネル展(H29年度)

- 道の駅「津かわげ」(H29.6.9～)
- 紀宝町役場「町民ホール」(H29.7.10～7.28)
- 道の駅「いが」(H29.8.1～8.31)
- 三重県伊勢庁舎1Fロビー(H29.8.21～9.1)
- 紀勢自動車道 紀北PA(H29.9.1～9.30)
- 鳥羽市役所及び市立図書館(H29.10.12～10.31)
- 道の駅「海山」(H29.11.1～11.30)
- 朝日町保健福祉センター(H29.12.1～12.28)
- 道の駅「関宿」(H30.1.5～3.30)
- 道の駅「海山」(H30.2.1～2.28)

開催中

終了

終了

終了

終了

終了

終了

終了

開催中

開催予定



予防保全を推進



メンテナンスサイクルの構築

- 点検は、維持管理を行う上で、重要な第一歩。
- 点検から始まる、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築して持続的に進めて行く事が重要です。

記録



各種点検結果や補修等の履歴を記録保存



点検

点検



定期的に点検し、損傷状況を把握、診断

記録

メンテナンス
サイクル

診断

道路管理者の決定

措置



補修等の計画に基づき、効率的に補修等を行う



措置

診断



定期点検結果に基づき、専門家で損傷原因に関する所見をまとめ、対策区分を判定し、補修等の計画を策定